

## 第2WG 評価コメント

### 評価者のコメント

#### 事業番号2-45 (独)国際協力機構運営費交付金

#### (人件費、旅費、事務費、業務委託費等)

特に委託について、競争性の実質的確保のない事業は予算を50%減とすべき。現況は人為的な高値の維持となっている。国際協力機構(JICA)の手当・給与等は類似国際事例に準拠すべき。第三者に任命権、予算支出権のある事後評価を導入すべき。

旅費は航空運賃だけでなく、日当・宿泊料など全ての項目について見直すべき。役員も含めて全て見直すべき。業務委託は競争性がない。(財)日本国際協力センター(JICE)が財政的優位であり、民間参入できない現状を見直すべき。広報誌のうち、国内向け冊子は国民向けになっていない。この見直しも必要である。

給与については他の国際機関との比較により適正水準を検討すべき。それが示されない場合は三割程度の削減はやむなし。旅費についてはエコミー割引を原則とした再設定をすべき。広報予算については代替手段を含めて検討すべき。

給与水準は国家公務員に比べて割高。役員報酬を三割削減する。理事長2200万円、副理事長1900万円など高額すぎる。広報予算も三割削減し、真に必要なものに限定する。

国民の税金で運営する組織として、在外手当など妥当といいがたい。外部の人も入れて見直しプランを作るべき。JICEとの関係もオープンにすべき。

自らの給与が高すぎるうえに、在外手当が高すぎる。他国との比較の数字も特にないのでは話にならない。委託も大幅に削減すべし(透明性と競争がないため)。

国家公務員の旅費に関する法律への準拠に疑問。独立行政法人として税金無駄遣いは徹底的に見直す。理事会では清貧の思想が論議されているか？

JICAに国民が期待してきたのは飢餓に苦しむ人たち、戦火にまみれて悲惨な状態にある人たちにできるだけ多くの援助の手を差し伸べることだと思う。しかし、政府からの交付金の三割が人件費・管理費等に消えてしまう現状は信じがたい。ODA予算が削られて援助額が他国に比べ少ないと言う前に、自己努力で組織スリム化を図り真の援助事業を進めて欲しい。世界の、同様な活動を行っている機関や団体の運営方法を調べ学ぶべきである。

海外投融資については、透明性をもって過去のレビューをすべき。新規の投融資は平成22年度には行わない。在外手当と海外の住居手当は、今後海外に人員を移すJICAにとって大きな支出となる。総額で削減すべき。旅費の削減率が割引運賃にしたのに低すぎる。普通運賃に対して50%を目指し更に削減すべき。広報誌はJICA一誌、協力隊一誌。

関連法人に利益が蓄えられている構造を改める。JICE、(財)日本国際協力システム(JICS)の基金等は概ね1年以内に国庫に返納。人件費は国家公務員並み(ラスパイレス指数100

近く)まで下げるべき。

公益法人の内部留保を返還すべし(税金・補助金等で蓄積されたもの)。

業務委託は全般的に見直すべきではないか。数字の把握が全くできていない。

合併による合理化効果はどのように見ているのか不明。まったく効率化が反映されていない。飛行機等の経費の見直しも甘い。入札状況も不透明。

新JICAになり統合したことによって、間接部門のコストが削減できるはず。JICEに対する一社入札 90%は不透明であり透明性・競争性が必要。

## WGの評価結果

---

### (独)国際協力機構運営費交付金

(人件費、旅費、事務費、業務委託費等)

## 見直し

(廃止 0名 自治体/民間 0名 見直しは行わない 0名)

見直しを行う 16名:

ア.給与水準の更なる引下げ 15名

イ.旅費縮減の予算への反映及び更なる縮減 16名

ウ.広報予算の見直し 14名

エ.関連公益法人等向け支出の透明性・競争性の確保 16名

オ.その他 3名)

## とりまとめコメント

---

検討対象となった給与水準の引下げ、旅費の縮減、広報予算の見直し、関連公益法人等向け支出の透明性・競争性の確保等を全て行っていただきたい。

まず、給与水準の更なる引き下げについて、ラスパイレス指数133は独立行政法人の中でトップであり、これまでの約束の中での総人件費削減ということとは別に、新政権としては、ラスパイレス指数を100に近づけるように人件費の見直しをしていただきたい。年限については、すぐにできるものではないと思うが、放置できるものではないので、省内で検討いただきたい。

旅費については、基本はエコノミーで行っていただき、特段の事情があるときだけビジネスクラスという運用に変えていただきたい。これまでは基本はビジネスであったが、新政権ではその逆としていただきたい。

広報予算の見直しについても、3つの機関誌の整理統合を検討していただきたい。

公益法人等への支出については、一社入札や、プロポーザル・企画競争入札の名を借りた随意契約が多く、実質的な競争入札が少ない現状から、透明性の確保を図るべく政務官を中心に改善をしていただきたい。

これまでの3コマを通じて、JICAには大変厳しい目が向けられているということを知っていただけたかと思う。外国への支援については国益、また新政権の方針で大枠は色々と変わってこようとは思われるが、一般管理費・業務に関連する経費については徹底的にコスト削減をしていただきたい。